

2017 年度

アメリカ派遣留学報告書

実習先：セントラルミズーリ大学

実習期間：平成29年8月23日（水）～12月9日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016049
佐藤 真実

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	研修日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：セントラルミズーリ大学

研修期間：平成29年8月23日（水）～平成29年12月9日（土）

2 研修先概要

(1)大学について

セントラルミズーリ大学は、アメリカ合衆国のミズーリ州に位置するウォレンズバーグ市という、人口が約2万人のところに位置している。ウォレンズバーグ市はとてものどかで治安も非常に良い。大学の創立は1871年であり、約150年もの歴史を持っている。しかし学内の施設はどの場所もとても綺麗で新しく、全くそのような古さを感じさせない。また、この大学は5つの学部と1つの大学院を擁する州立の総合大学である。学生数は約13,000名である。近くにアメリカ航空基地があることから、航空学が有名でパイロットを目指す学生も多く集まっている。学生寮は教室棟から徒歩5分ほどの場所に位置している。

(2)大学で行われている教育について

セントラルミズーリ大学では150もの学術プログラムが提供されており、準学士号、学士号、修士号、教授修士号など幅広い学位を取得することができ、ミズーリ州以外からも全米43州、57カ国から2,000名以上の留学生が集い学んでいる。また広大なキャンパスにはスポーツジムやコンサートホール、映画館などの様々な施設があり、学生のスキルアップや娯楽にも力を入れている。今回お世話になった **Intensive English Program(IEP)** という英語を母語としない学生に英語の教育を行う科では、1クラスの人数が多くなりすぎないように配慮がなされており、充実した環境の中で学習を行うことができる。また初級者から上級者まで4段階にレベル分けされており、英語が苦手な学生も基礎からしっかり学習することができる。

3 研修目的

今回の研修の目的は、英語力の上昇を図ること、もちろん **TOEIC** のスコアを確実に上げること、またアメリカの文化を目で見て体感することであった。海外で英語を学習することは日本で学習するのとは異なり、周りの環境が全て英語であるため、嫌でも英語を使用しなければ生活が困難となる。そういった厳しい環境の中で英語を学習し生活したく思い参加した。留学に行ったからには **TOEIC** のスコアが確実に上がるだろうという軽率な考えではいけないと考え、現地でも学習に熱心に励もうという意気込みも大いにあった。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

8月 23(水) 到着・入寮・交流会

24(木) オリエンテーション・健康診断・学生証作成・キャンパスツアー・買出し

25(金) IEP クラス分けのプレースメントテスト・ボーリングパーティー

28(月) 授業開始

31(木) アメリカンフットボールの試合観戦

9月 10(日) 野球観戦

13(水) Conversation Partner と初対面

22(金) American Culture の課外学習で Jefferson City へ

23(土) Kansas City の美術館とショッピングモールへ

26(火) 映画鑑賞

10月 3(火) 期末試験

4(水) 期末試験

7(土) Japan Festival

8(日) ミュージカル鑑賞

13(金) Homecoming Parade

16(月) American History の課外学習

19(木) Fall Party

27(金) American Culture の課外学習で農場へ

31(火) Halloween

11月 4(土) Activity buddy 宅へ

11(土) Food show

16(木) IEP Thanks Giving Dinner

18(土) Thanks Giving Break

19(日) Thanks Giving Break

20(月) Thanks Giving Break

21(火) Thanks Giving Break

22(水) Thanks Giving Break

23(木) Thanks Giving Break

24(金) Thanks Giving Break

25(土) Thanks Giving Break

12月 7(木) Award Ceremony

12月 8(金) 退寮

12月 9(土) 帰国

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)IEP クラス

英語を母語としない学生に英語の教育を行う科である。クラスはレベル別に少人数で分かれており、自分のレベルに合わせて無理なく英語を学習できる。IEP には日本人だけでなく、世界各国から生徒が集まっている。プログラムされている授業は Reading・Writing・Communication Skills・Grammar・American History・American Culture・Accent Reduction・Conversation Partner・USA&JAPAN の9つであった。授業だけでなく、近くの地域で行われる様々なイベントにも参加でき、アメリカの文化や習慣を体感することができる。

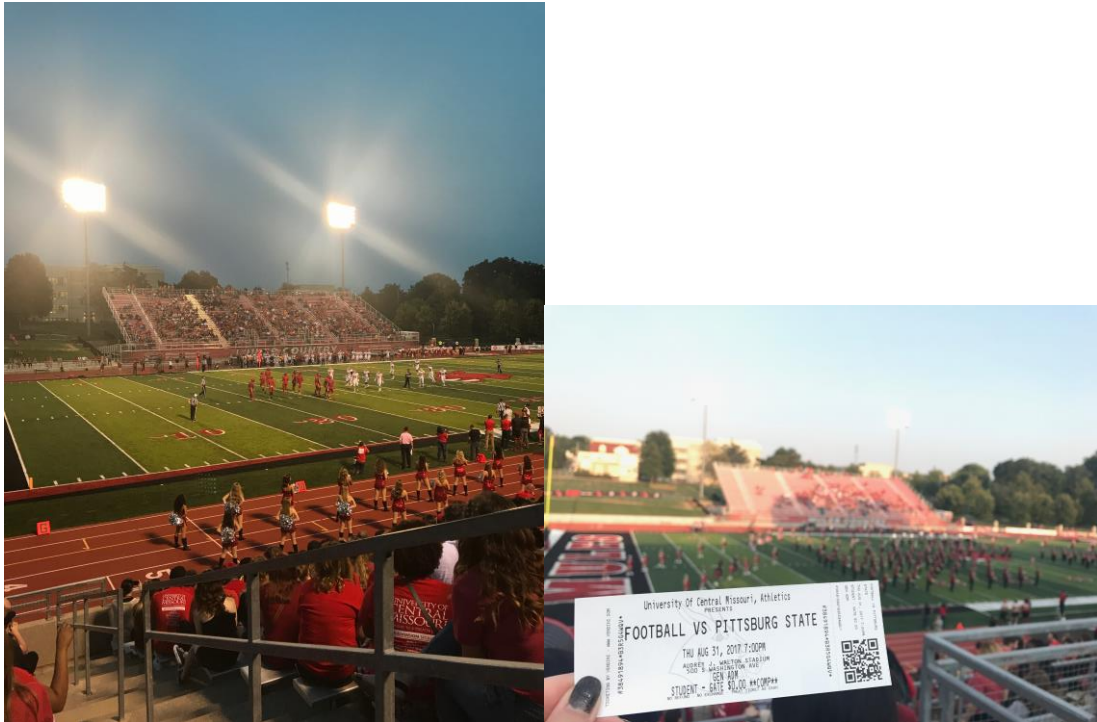
ii)ボーリングパーティー

今学期で新入してきた生徒たちのアイスブレイクとして行われたパーティーであった。そこで今回お世話になる先生方の紹介もあった。生徒たちだけでなく先生方とも打ち解けることができたので、とても良い企画であった。学内にボーリング場があり誰でも気軽に好きな時にボーリングを楽しむことができる。



iii)アメリカンフットボールの試合観戦

学内にアメリカンフットボールの試合場があり、UCM の生徒は無料で観戦できるため試合が行われる日は生徒たちは大盛り上がりする。地域の方々も応援しに試合場へやってくる。UCM のチーム名は MULES といって、生徒たちは皆チームカラーである赤色の洋服を着て応援する。大きな試合になると学校の周りはお祭りのように人であふれ、イベントも行われる。MULES が試合で勝利すると、学内にある UCM ショップでは商品が値引きされる。



iv) 野球観戦

American Culture の課外学習として、ウォレンズバーグから約 100 キロほど離れたカンザスシティにある野球スタジアムで行われた試合を観戦した。カンザスシティのチームはロイヤルズという名前でチームカラーは青であった。観客たちは青色の洋服やチームのグッズを身に着けて選手たちに熱い声援を送っていた。ロイヤルズは相手チームに圧勝だった。



v) Conversation Partner

IEP の生徒 1~2 人に対して地元の学生 1 人という割り当てで週に 1 回 1 時間お互いに時間をつくり英会話を楽しみ、会話能力を高めるという活動である。ペアの人が自分に合わないと感じたらいつでも変更できる。

vi)Activity Buddy

IEP の生徒 2~4 人に対して地元の学生 1 人がグループを組み、学内のアクティビティあるいは学外の外出を行い、交流する活動である。

vii)Homecoming Parade

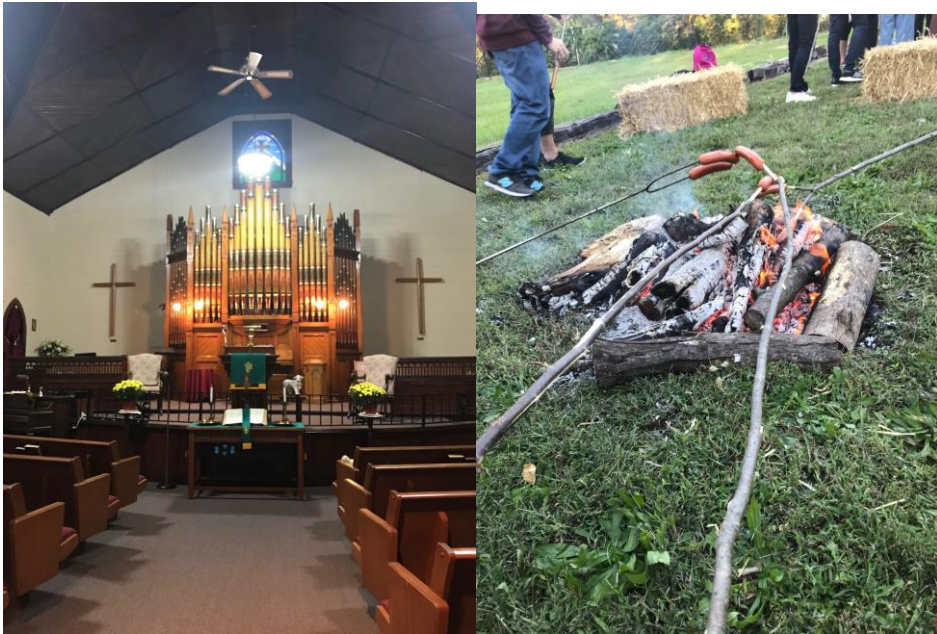
卒業生などが集まり、学校の周りを行進する。留学生たちは自国の民族衣装を身にまとう。お菓子を配りながら行進するため、地域の子供たちが多く集まっていた。



viii)American History 課外学習

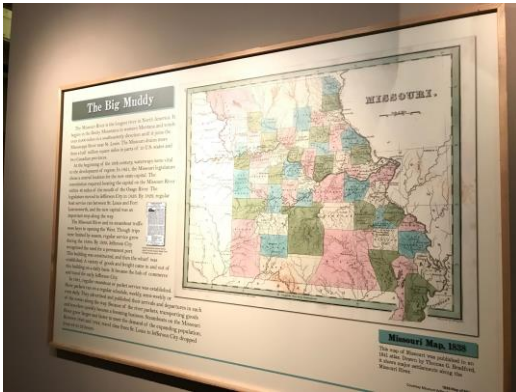
昔の小学校や教会を見学に行ったり、焚火をしてホットドッグやスモア作りなどをした。ハロウィンが近かったため、かぼちゃにペイントをしたり、アメリカの歴史や習慣を体感できた。





ix) American Culture 課外学習

ミズーリ州の州都である Jefferson City へ行き、ミズーリ州の歴史や習慣を学んだ。



x) Fall Party

UCM 学内で行われていた無料のハロウィンパーティーで、自由にかぼちゃにペイントをしたりクッキーにアイシングをしたり、秋ならではの習慣を楽しんだ。

xi) Halloween

授業に仮装をして参加したりダウンタウンにお菓子をもらいに行ったり、盛り上がっていた。

xii) Food Show

JSO という UCM に在学している日本人のみで活動しているクラブで日本料理を調理し、UCM の生徒や地域の方々に振舞った。日本食は大変人気ですぐに完売した。日本食の他にも韓国・スリランカ・カナダ・スペインなど様々な国の料理を楽しむことができる。

xiii) IEP Thanks Giving Dinner

アメリカの国民的休日であるサンクスギビングデイに食べられる伝統料理を頂いた。ターキーを食べるのが伝統的である。



xiv) Thanks Giving Break

サンクスギビングはアメリカの国民的休日であるので学校も長期休みに入る。UCM では10連休であったので地元の生徒たちは実家に帰ったり、留学生たちは旅行へ行ったりして休暇を楽しむ。

xv) Award Ceremony

IEP の学生が集まり、卒業証書が授与される。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 英語力の上昇を図る

現地では授業が英語で実施され、さらに周りの環境もすべて英語であるため、英語を理解しようという意欲が高まった。授業が始まったばかりのころは先生が何を言っているのか理解できないことも多くあり、また周りの外国人が自分に何を話しかけているのかを聞き取れないことが多々あったが、帰国近くになると最初より聞き取れるようになっていた。また、発音練習の授業もあったため、以前よりも英語が伝わるようになった。

ii) TOEIC のスコアを確実に上げること

TOEIC 対策の授業もあり、日々の授業のおかげで TOEIC スコアは上げることができた。絶対に TOEIC スコアは上げて帰国したいという気持ちが強くあったため、授業だけでなく自ら毎日の課題や自主学習に熱心に取り組んだ。成果が出たことは本当にうれしく思う。

iii) アメリカの文化を目で見て体感すること

各種授業で課外学習があったり、普段の生活からアメリカの文化は十分に体感することができた。日本での生活と比較して相違点もいくつか見つけることができた。

6 反省・課題

反省点としては、日本人同士でかたまりすぎていたということだ。折角外国で英語を勉強できるという機会であったのに、日本語離れができず、日本語で仲間と会話するということが多くあった。もっと積極的に英語を使っていたなら、さらに英語力が上がったのではないかと、もっと外国人の友人が多くできたのではないかと考えるととても悔やまれる。今後の課題としては場の雰囲気にもまねずにし、英語学習を以前よりも熱心に励む必要がある。また、今後海外へ学習しに行く機会があるなら積極的に英語を話していく必要がある。また、目標

を達成できたからと言ってそこで満足せずにさらに上へ上へと目標を設定し、英語学習に励みたい。

謝辞

今回、セントラルミズーリ大学の IEP にて懇切丁寧に指導して下さった先生方、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学のアメリカ留学の担当で 2017 年度前期の授業、留学先のサポート、帰国後の各種活動を賜りました矢口裕子先生、藤本直生先生、小林伊織先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを心から感謝いたします。

付録：Thanks Giving Break

Thanks Giving Break の間に同じくミズーリ州に位置する St.Louis と Kansas City へ観光へ行ったのでそこで体験したこと、感じたことを紹介する。

11 月 20 日 (月)

住んでいた学生寮から歩いて 10 分ほどのところに AMTRAK という日本で言う JR のような電車が通っている駅がある。そこから電車に乗り、4 時間半で St.Loious に到着する。St.Louis は Jefferson City が州都になる前の州都であったため、とても栄えている。St.Loious 駅に到着してから徒歩約 2 時間で宿泊予定のホテルに到着する。今回 St.Louis へ行った目的は、ミズーリ州では有名な無料国立動物園へ行くためであったので、ホテルはその動物園から徒歩で約 20 分ほどの場所であった。

11 月 21 日 (火)

ホテルから出発し、徒歩約 20 分で目的地の動物園へ到着した。大きさを言うと日本の上野動物園ほどの大きな敷地で、日本ではあまり見ることのない動物がたくさんいた。そういったクオリティで無料入場できるというのは日本ではあまり無いので驚いた。帰りは動物園から UBER というタクシーシステムを使い、St.Louis 駅へ向かった。電車の本数は 1 日に 2~3 本しかないため、思う存分に St.Louis の街を観光することできなかったが、とても良い思い出になった。



11月23日(木)

AMTRAK で約 1 時間半ほどで **Kansas City** に到着する。そこから徒歩約 2 時間で宿泊予定のホテルへ向かう。11月23日はライトアップセレモニーというイベントがあり、プラザというショッピング街の店にイルミネーションが飾られ、時間になると一斉にライトアップされ、花火もあがる。その景色には圧巻だった。その日は多くの観光客や地元の人々であふれていた。



11月24日(金)

ブラックフライデーであったため、お得に買い物ができる日であった。朝からプラザというショッピング街へ行き、買い物を楽しんだ。



11月25日(土)

Kansas City 駅周辺のは観光客向けの建物がたくさんある。**Sealife** という水族館へ行ったり、**Crown Centre** という所へ行き、お土産をたくさん購入した。